

議題(1) 令和7年8月豪雨を踏まえた浸水対策について

項目	現状、課題、これまでの取組状況等
<p>令和7年8月豪雨を踏まえた浸水対策について</p>	<p>1 現状・背景</p> <p>[河川に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年8月豪雨により、県内では多くの浸水被害が発生。 坪井川、井芹川流域では、熊本市中心市街地において浸水被害が発生したものの、県ではこれまで、河川激甚災害対策特別緊急事業等により河道拡幅や河道掘削、遊水地整備などの治水対策を実施していたことから、今回の豪雨においても、坪井川遊水地で約100万m³の洪水を貯留する等、中心市街地の大規模な被害を軽減。 <p>[内水に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> 坪井川、井芹川沿いには、住宅が密集している箇所が多く存在しており、今回の豪雨においても、ポンプによる強制排水等を実施したものの、計画規模を超える大雨であったことから、浸水被害が発生。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の豪雨は、短時間に非常に激しい雨が降り、市街地を中心に浸水被害が発生していることから、浸水対策については、県と市の役割分担を明確にしつつ、気候変動の影響を踏まえたハード整備とソフト対策を連携して行うことが重要。 <p>[河川に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> 坪井川水系においては、流下能力を確保するための堆積土砂の撤去等に加え、治水安全度の向上に向けた河川整備が必要。 坪井川水系においては、広範囲に発生した浸水被害を踏まえ、早期の避難行動につなげるため、河川の水位状況を提供する河川監視カメラの増設が必要。 <p>[内水に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> ハード整備として、大雨で運転停止した「山ノ下排水機場」と「坪井ポンプ場」での耐水化等の対策実施に加え、浸水地区における被害の防止・軽減に向けた対策の検討が必要。 ソフト対策として、市民の防災対応力向上に資する取組が必要。 <p>3 これまでの取組状況</p> <p>○浸水被害調査</p> <p>[河川に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> 外水氾濫による浸水調査を行い、越水箇所等を整理。 11月12日に学識者と坪井川及び井芹川の越水箇所等について現地確認。 11月21日に開催した「令和7年度第1回熊本県河川計画策定に係る学識者委員会」において、浸水調査結果について、学識者から客観的な視点で意見聴取し、河川の氾濫状況をとりまとめた。 <p>[内水に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> 山ノ下排水機場や坪井ポンプ場周辺の浸水痕跡調査を実施。 り災証明書の申請等を基に、浸水に伴う被害の状況を整理。 <p>○令和7年8月の大雨による浸水被害に関する検討会（県）</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月4日実施の「第1回令和7年8月の大雨による浸水被害に関する検討会」において、県の関係部局及び全市町村と浸水被害軽減に向けた今後の対策を検討することを確認。 その後、浸水被害に関する課題及び対応策について、県の関係部局、全市町村に調査し、沿岸市町には、別途、詳細なヒアリングを実施。 12月18日実施の「第2回令和7年8月の大雨による浸水被害に関する検討会」において、浸水被害が生じた要因に対し、考えられる対策を協議。 <p>○令和7年8月10日からの大雨時における排水機場等の稼働状況等に関する検証委員会（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨時に運転が停止した「山ノ下排水機場」及び「坪井ポンプ場」について、これまで熊本市の検証委員会が計3回開催され、停止した原因、停止したことによる影響、熊本市の対応、今後の対策について議論した結果をとりまとめ、11月14日に熊本市へ中間答申を実施。

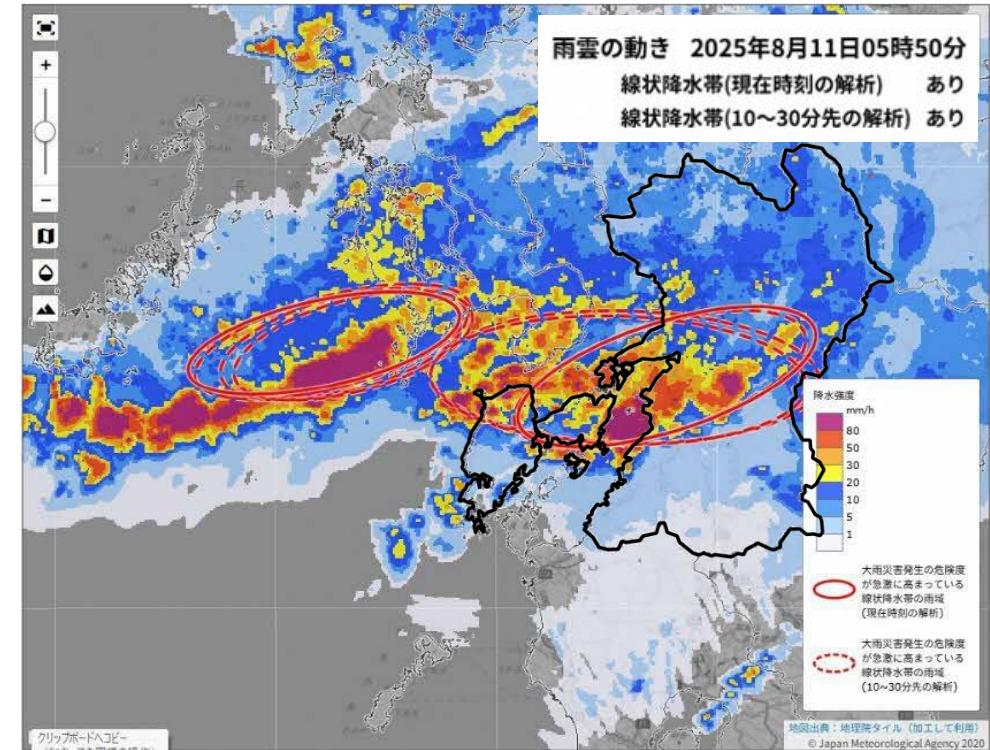
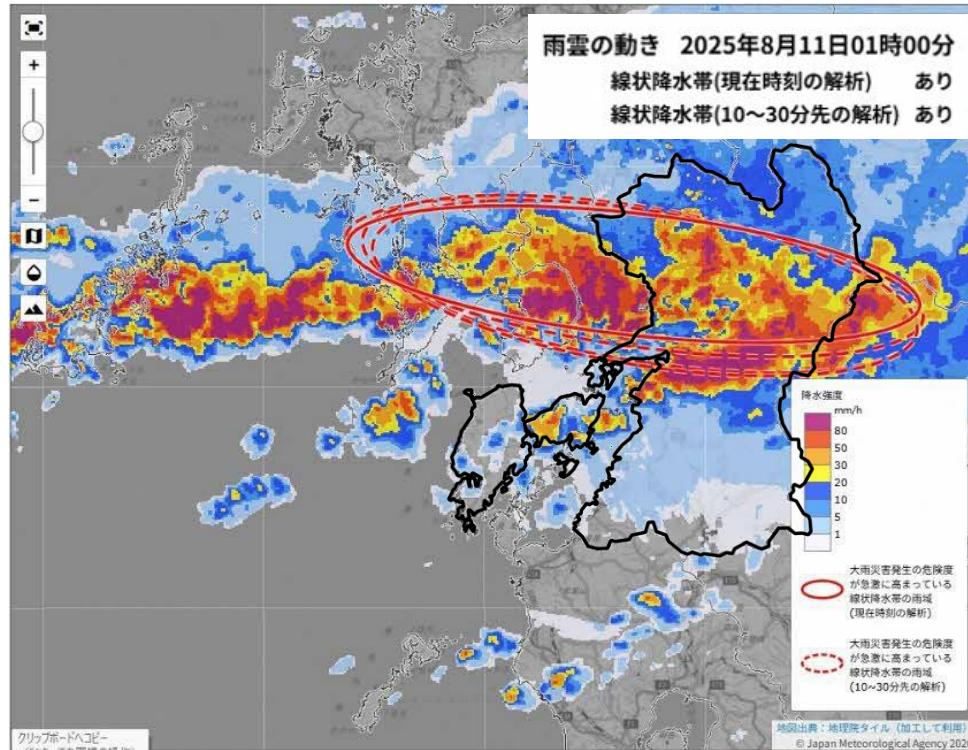
令和7年度
熊本県・熊本市調整会議

令和7年8月豪雨を踏まえた浸水対策について
(概要説明資料)

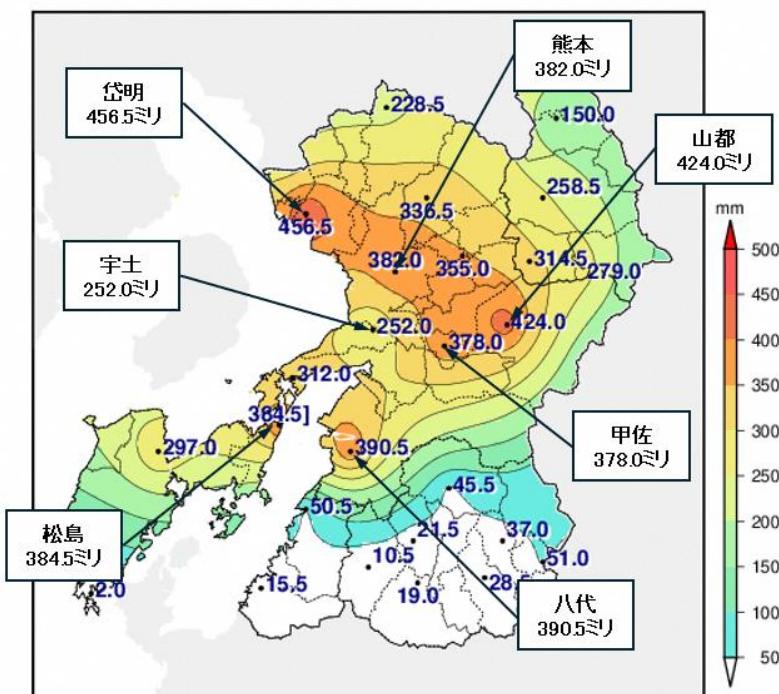
令和7年(2025年)12月24日

8月10日から11日の気象・降雨の概要について

- 10日～11日にかけて線状降水帯が発生。最大1時間雨量が令和2年7月豪雨を上回る123mm/h。県内7市町に大雨特別警報が発令、記録的短時間大雨情報が15回発表。
- 県内5つの観測地点で1時間雨量が観測開始以来最高となる降雨を記録。

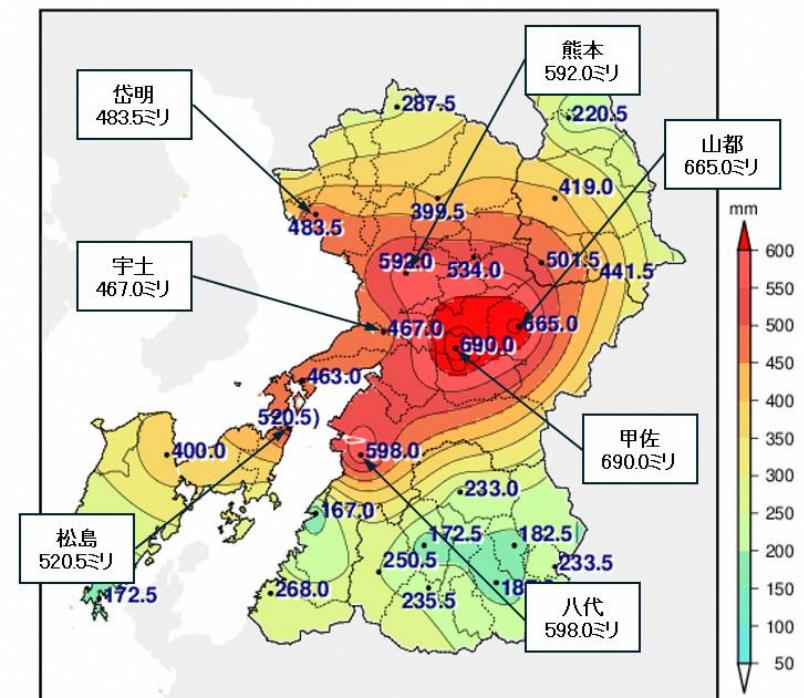


アメダス総水量の分布図 8/10 - 8/11



※松島は機器障害（8月11日08時10分～）による欠測を含む

アメダス総水量の分布図 8/6 - 8/11



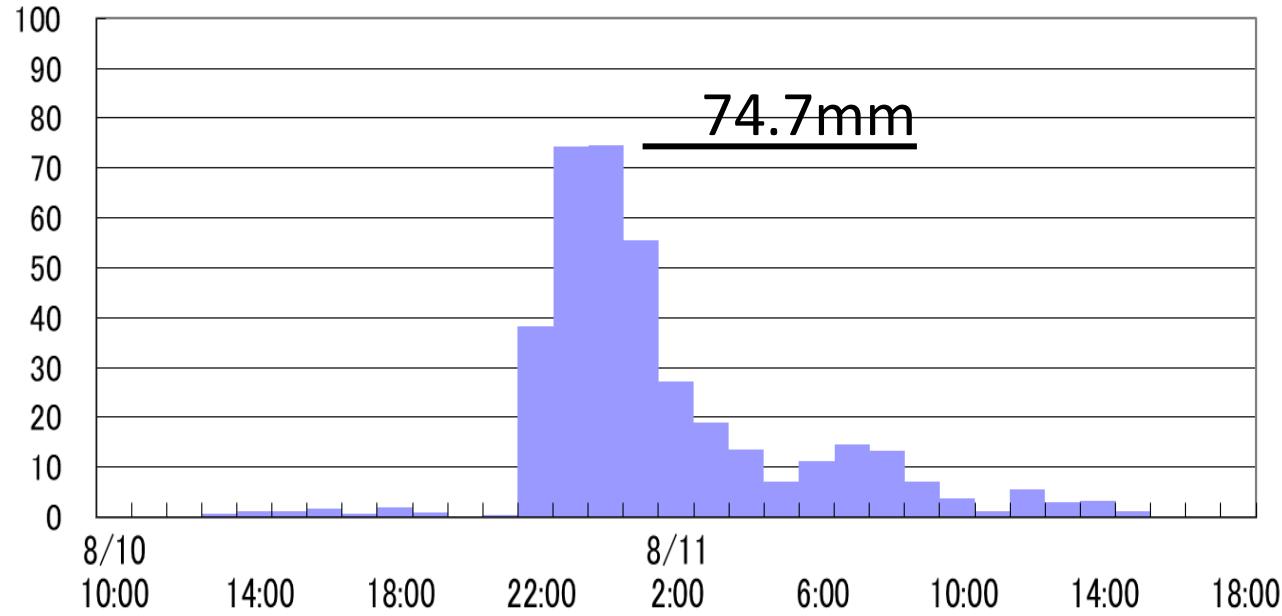
※松島は機器障害（8月11日08時10分～）による欠測を含む

熊本地方気象台 提供

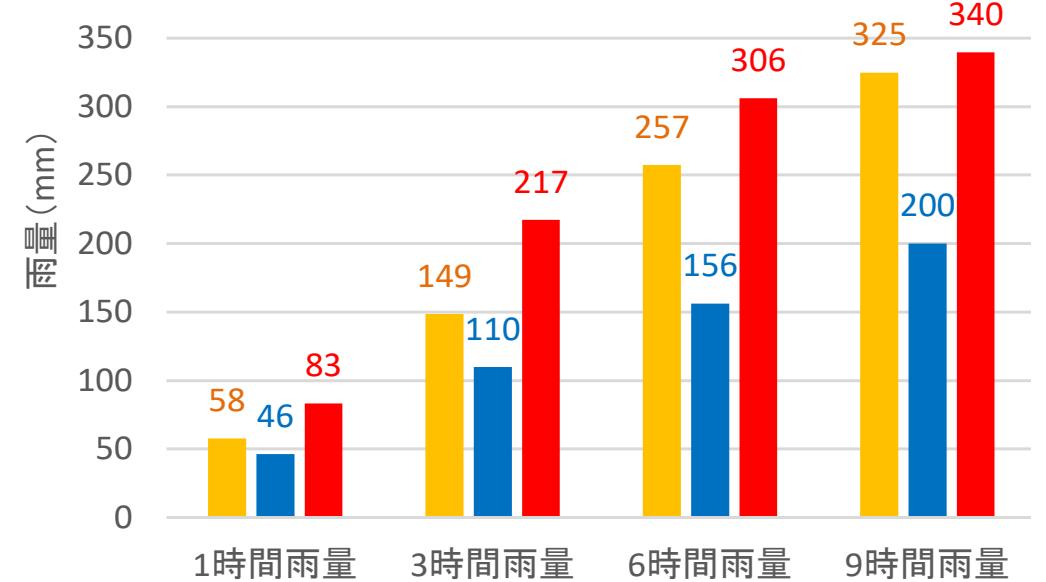
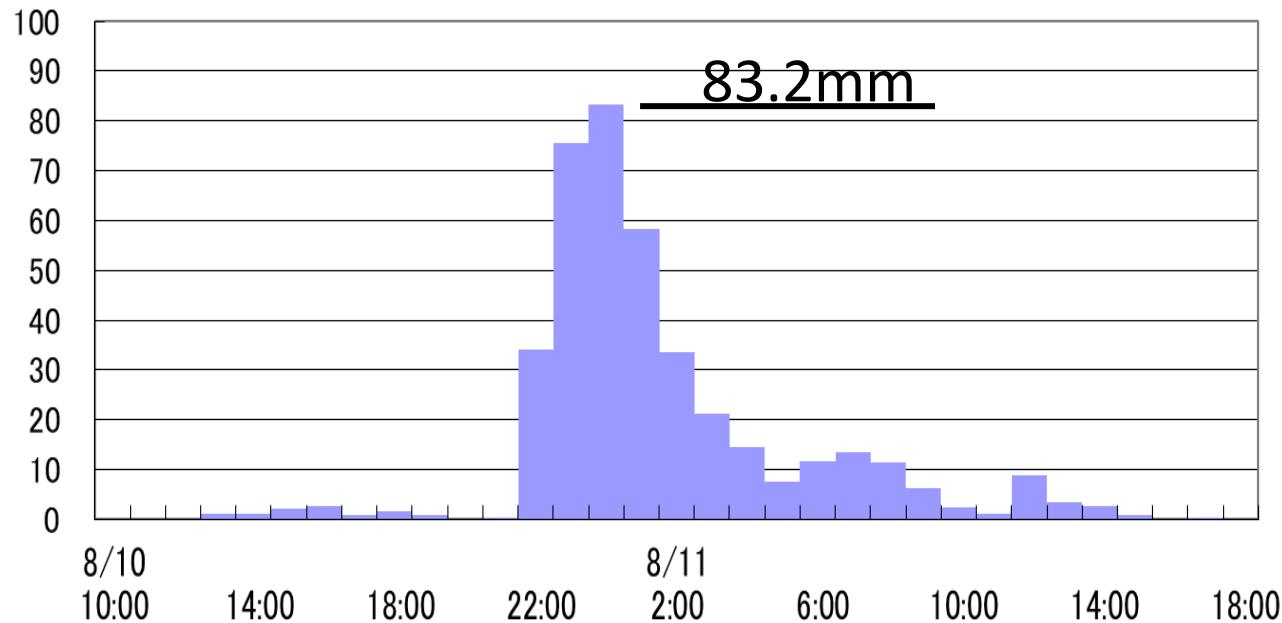
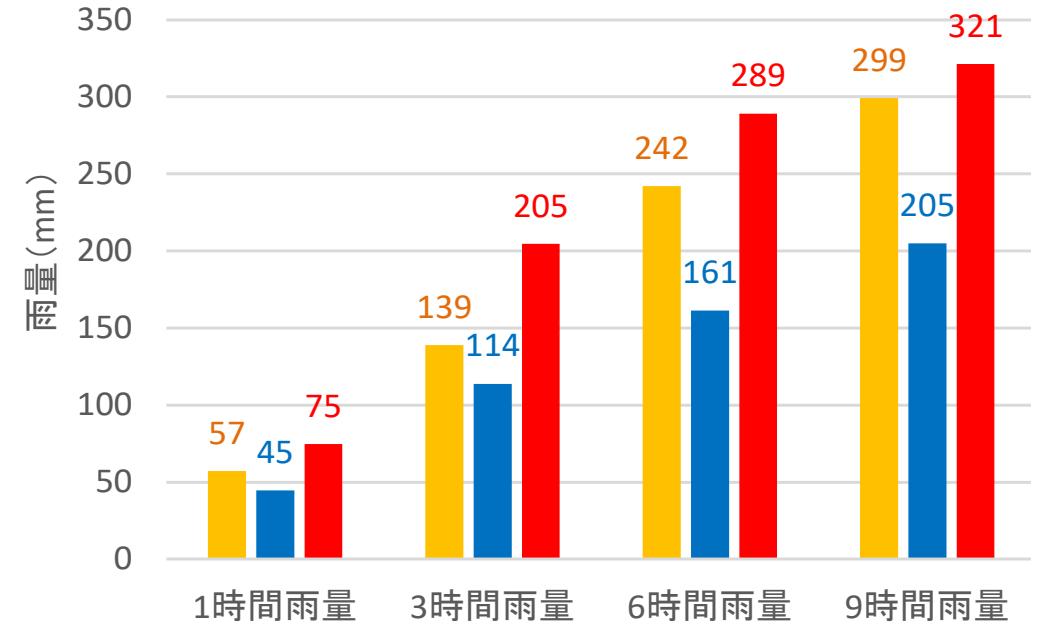
坪井・井芹川流域の降雨量について

○坪井川、井芹川流域では8月10日22時頃から時間雨量70mm～80mmの非常に激しい雨が継続した。
 ○今回の大雨は、観測史上最大であった、昭和32年7月洪水を上回る降雨であった。
 ※昭和55年8月の大雨は、河川激甚災害対策特別緊急事業の契機となった大雨

降雨分布図（流域平均雨量）



時間単位毎の雨量比較



令和7年8月豪雨の概要

○今回の記録的な豪雨により、一部の堤防からの越水や内水氾濫による浸水被害を確認。

⑤【井芹川】鶴野橋 (8/11 0:55撮影)



⑥【井芹川】山ノ下排水機場付近 (8/11 1:00撮影)



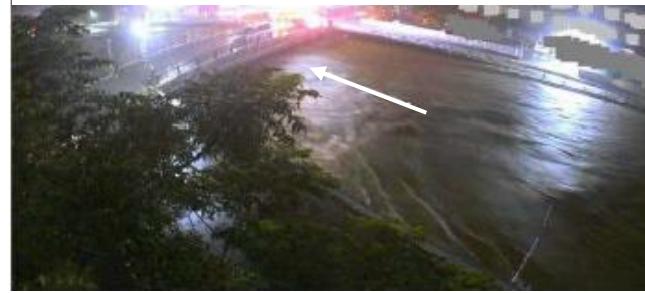
⑦【井芹川】西部水道セタ (8/11 1:00撮影)



★ : 越水箇所



①【坪井川】山室橋 (8/11 0:30撮影)



②【坪井川】坪井遊水地下流 (8/11 1:50撮影)



③【坪井川】坪井川下流 (8/11 2:50撮影)



④浸水状況 (中央区坪井五丁目)



⑧浸水状況 (西区上熊本二丁目)



⑨道路冠水状況 (中央区段山本町)



現状・背景

- ◆坪井川・井芹川流域では熊本市中心市街地等で浸水被害が発生
- ◆ポンプによる強制排水を実施したものの計画規模を超える大雨であったことから浸水被害が発生



県・市町村

【令和7年8月の大雨による浸水被害に関する検討会】

- ・第1回検討会開催（9月4日）
- ・第2回検討会開催（12月18日）

【浸水被害調査】

- ・学識者と現地視察（11月12日）
- ・学識者から意見聴取（11月21日）

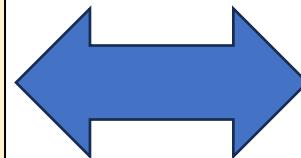
熊本市

【令和7年8月10日から大雨時における排水機場等の稼働状況等に関する検証委員会】

- ・第1回検証委員会（10月16日）
- ・第2回検証委員会（10月27日）
- ・第3回検証委員会（11月4日）
- ・中間答申（11月14日）

【浸水痕跡調査】

連携



課題

■気候変動の影響を踏まえたハードとソフト一体となった更なる対策が急務

- ・河川の堆積土砂の撤去等に加え、治水安全度の向上に向けた河川整備が必要
- ・大雨で運転停止した「山ノ下排水機場」と「坪井ポンプ場」は、耐水化等が必要
- ・浸水地区における被害の防止・軽減に向けた対策の検討が必要
- ・早期の避難活動につなげるため、河川の水位状況を提供する河川監視カメラが足りない
- ・市民の防災対応力向上に資する取組みが必要

年度内に有効な対策を取りまとめる予定

令和7年度
熊本県・熊本市調整会議

令和7年8月豪雨を踏まえた浸水対策について
(意見交換資料)

令和7年(2025年)12月24日

令和7年8月豪雨の概要

○今回の記録的な豪雨により、一部の堤防からの越水や内水氾濫による浸水被害を確認。

⑤【井芹川】鶴野橋 (8/110:55撮影)



⑥【井芹川】山ノ下排水機場付近 (8/11 1:00撮影)



⑦【井芹川】西部水道セタ (8/111:00撮影)



①【坪井川】山室橋 (8/11 0:30撮影)



②【坪井川】坪井遊水地下流 (8/11 1:50撮影)



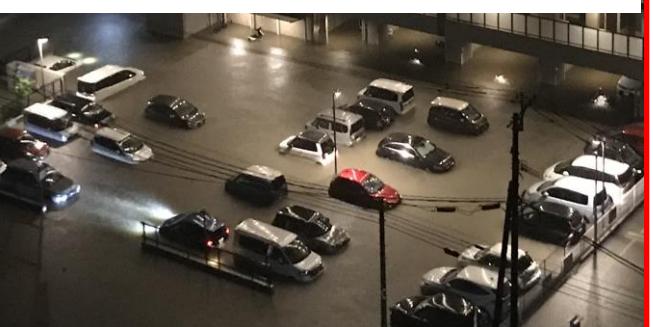
③【坪井川】坪井川下流 (8/11 2:50撮影)



④浸水状況 (中央区坪井五丁目)



⑧浸水状況 (西区上熊本二丁目)



⑨道路冠水状況 (中央区段山本町)



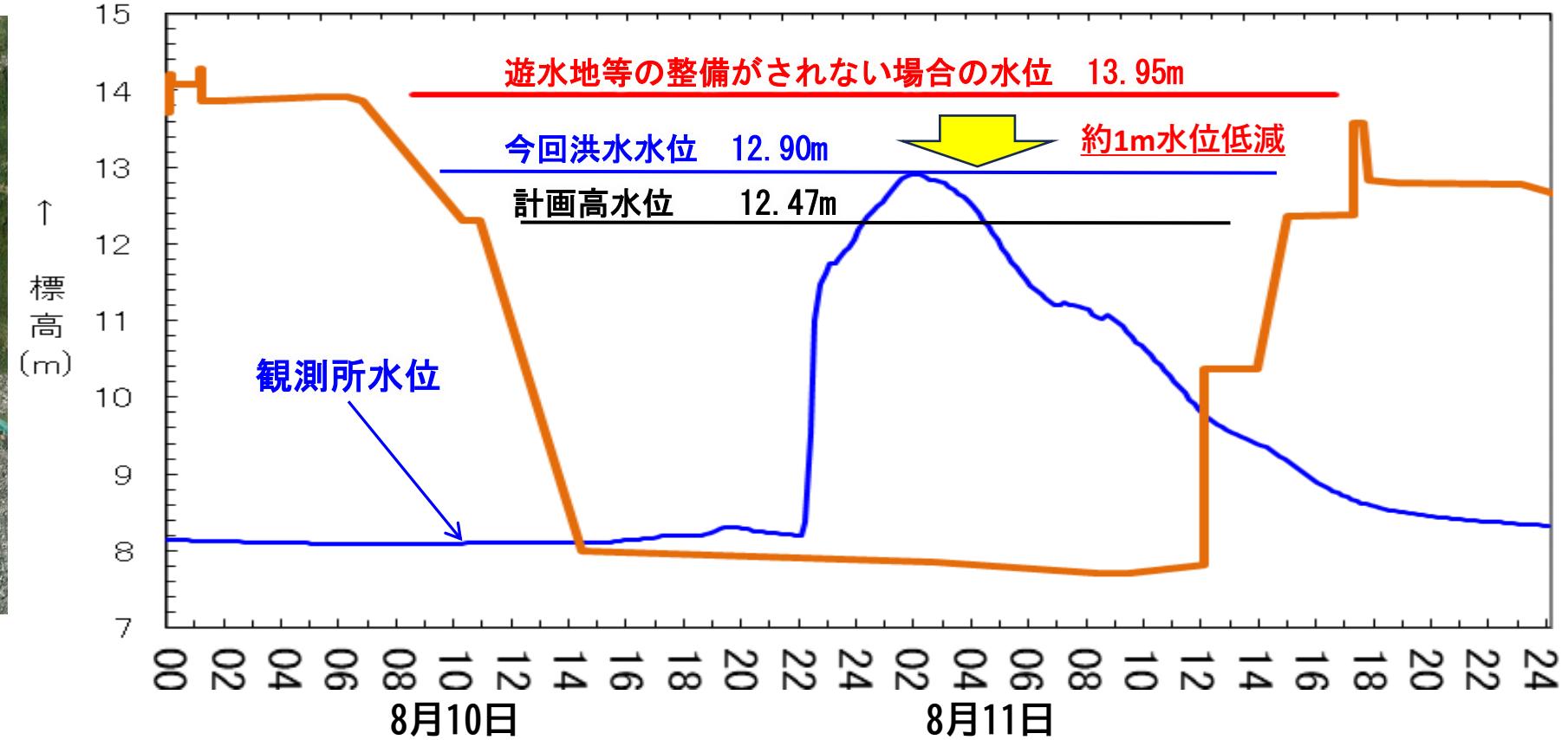
- ★ : 越水箇所
- ▲ : 水位観測所
- : 河川監視カメラ

○坪井川遊水地では、洪水、約100万m³を貯留し、遊水地下流の坪井水位観測所において、河川水位を約1m低減させ、熊本市街地の大規模な氾濫を未然に防止。

■ 全体位置図



■ 観測水位 (坪井水位観測所)



■ 整備状況 (坪井川遊水地)



■ 坪井川遊水地による貯留状況



※本資料の数値は暫定値であるため、今後の調査結果等で変わる可能性があります。

今後の取組方針（位置図）



～対策メニューの凡例～

- : 県の取組
- ◇ : 市の取組

②河川監視カメラの増設（県）

⑥排水施設の土砂撤去（排水路等）（市）

②河川監視カメラの増設（県）

①堆積した土砂の撤去（花園地区）（県）

⑦排水機場等の耐水化（山ノ下排水機場）（市）

⑧排水機場や地下貯留施設の整備及び流下能力向上（下水道浸水対策事業）（市）

②越水箇所の堤防嵩上げ（県）

②河川監視カメラの増設（県）

①堆積した土砂の撤去（横手地区）（県）

②越水箇所の堤防嵩上げ（県）

①堆積した土砂の撤去（谷尾崎地区）（県）

③既存の流域下水道施設（調整池）の活用（県）

②越水箇所の堤防嵩上げ（県）

②河川監視カメラの増設（県）

②河川監視カメラの増設（県）

④既存遊水地の洪水調節機能の強化（県）

①堆積した土砂の撤去（坪井・清水地区）（県）

⑥排水施設の土砂撤去（排水路等）（市）

⑤泥川排水機場の自動運転化（県）

⑦排水機場等の耐水化（坪井ポンプ場）（市）

②越水箇所の堤防嵩上げ（県）

②河川監視カメラの増設（県）

⑥排水施設の土砂撤去（排水路等）（市）

②越水箇所の堤防嵩上げ（県）

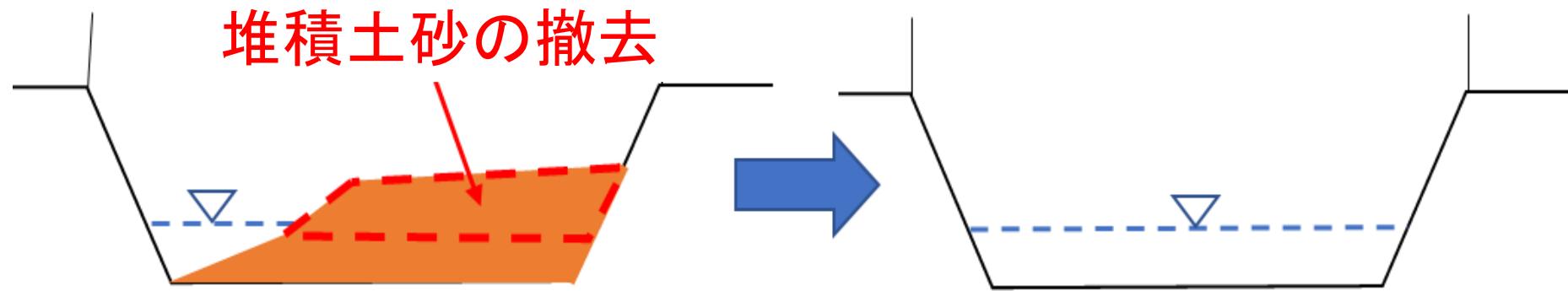
②河川監視カメラの増設（県）

- ハード整備**
- 河川に関すること（県）
 - ①堆積した土砂の撤去★（坪井川1箇所、井芹川3箇所）
 - ②越水箇所の堤防嵩上げ ※対策箇所は検討中
 - ③治水対策の検討 ★ 県・市連携
 - ④既存遊水地の洪水調節機能の強化
 - ⑤泥川排水機場の自動運転化
 - 内水に関すること（市）
 - ⑥排水施設の土砂撤去
 - ⑦排水機場等の施設耐水化 ★
 - ⑧排水機場や地下水貯留施設の整備及び流下能力向上★

- ソフト対策**
- 河川に関すること（県）
 - ①重要水防区間のパトロールの実施 県・市連携
 - ②河川監視カメラの増設 ★ 県・市連携（坪井川6基→10基、井芹川3基→6基）
 - ③既存の流域下水道施設（調整池）の活用 ★
 - 内水に関すること（市）
 - ④内水浸水想定区域図の見直し、内水ハザードマップの作成・周知 ★
 - ⑤ワンコイン浸水センサの設置
 - ⑥雨水浸透ます等の設置への補助及び普及促進
 - ⑦止水板設置補助制度の導入 ★
 - ⑧排水機場の操作要領・細則の見直し
 - ⑨市民の防災対応力向上に向けた啓発及び情報提供
 - ⑩市民を含めた避難訓練及び防災教育の実施
 - その他の取組み（県・市連携）
 - ①情報伝達の訓練強化
 - ②出水期前に災害の備えとなる情報を広報誌等で周知

※ 取組方針は、現時点で検討段階であり、今後変更になる可能性があります。 3

■ 堆積土砂の撤去



井芹川（横手地区）における堆積土砂の撤去



■排水機場の施設耐水化

耐水化の対策イメージ



主要設備の上階への移設



建物内への
浸水防止策
(左：耐水扉)
(右：止水板)

出典：経済産業省 自家用電気工作物における
浸水対策の取組事例について



出典：国土交通省
気候変動を踏まえた都市
浸水対策に関する検討会

■気候変動を考慮した治水対策の検討

河川整備基本方針

治水対策の検討

河川整備基本方針（原案）の作成

・国土交通省協議

河川整備基本方針（案）の作成

・国土交通省協議
・学識者委員会
・関係機関協議

河川整備基本方針の決定

河川整備計画

河川整備計画（素案）の作成

・国土交通省協議

河川整備計画（原案）の作成

・国土交通省協議
・熊本県学識者委員会
・関係機関協議

河川整備計画（案）の作成

・熊本県学識者委員会
・意見聴取
・関係機関協議

河川整備計画の決定

河川工事、河川の維持

治水対策検討の流れ

計画策定の基本方針

- ①改修区間と計画基準点の設定
- ②計画規模の設定

基本高水の検討

- ①計画降雨の設定（降雨解析）
- ②流出計算手法の検討（流出解析）
- ③洪水検証
- ④基本高水の算定

洪水処理方式の検討

- ①河道の流下能力向上策の検討
- ②遊水地等の洪水調節施設の検討
- ③流出抑制施設の検討

整備メニューの決定

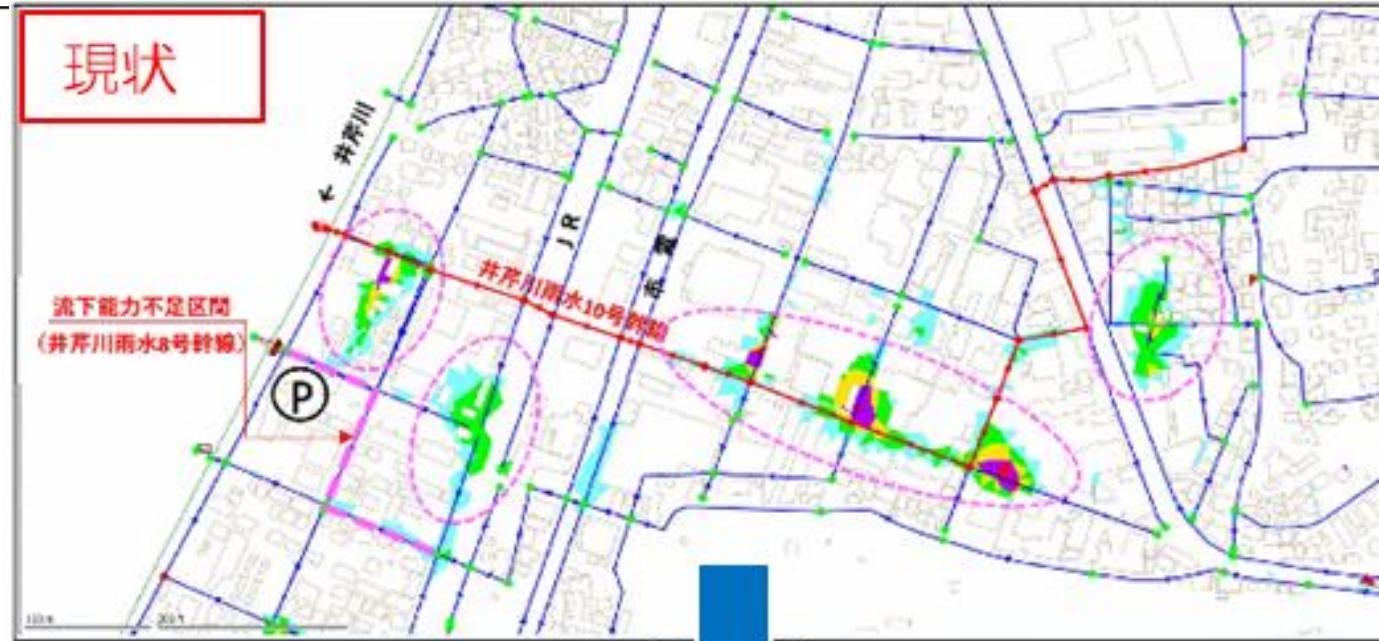
- ①河道掘削、河道拡幅及び洪水調節等の河川整備
- ②既存施設の機能強化
 - ・遊水地の洪水調節機能の強化
 - ・排水機場の自動運転化 等

ハード整備（中長期）

■排水機場・地下貯留施設の整備

井芹川第8・10排水区浸水対策事業

排水機場及び地下貯留施設の整備



- ・排水機場(ポンプ排水能力5.0m³/s)や地下貯留施設(貯留容量4,200m³)を計画。令和4年度からの工事に着手。新規排水機場及び導水路の工事を実施中。
- ・排水能力向上のため流域の変更や新たな雨水幹線を計画。

浸水シミュレーションによる施設効果 (ポンプ場+地下貯留施設) の確認▶

■ 河川監視カメラの増設（坪井川 6 基→ 10 基、井芹川 3 基→ 6 基）

- 【坪井川】 坪井遊水地地下流河川監視カメラ映像



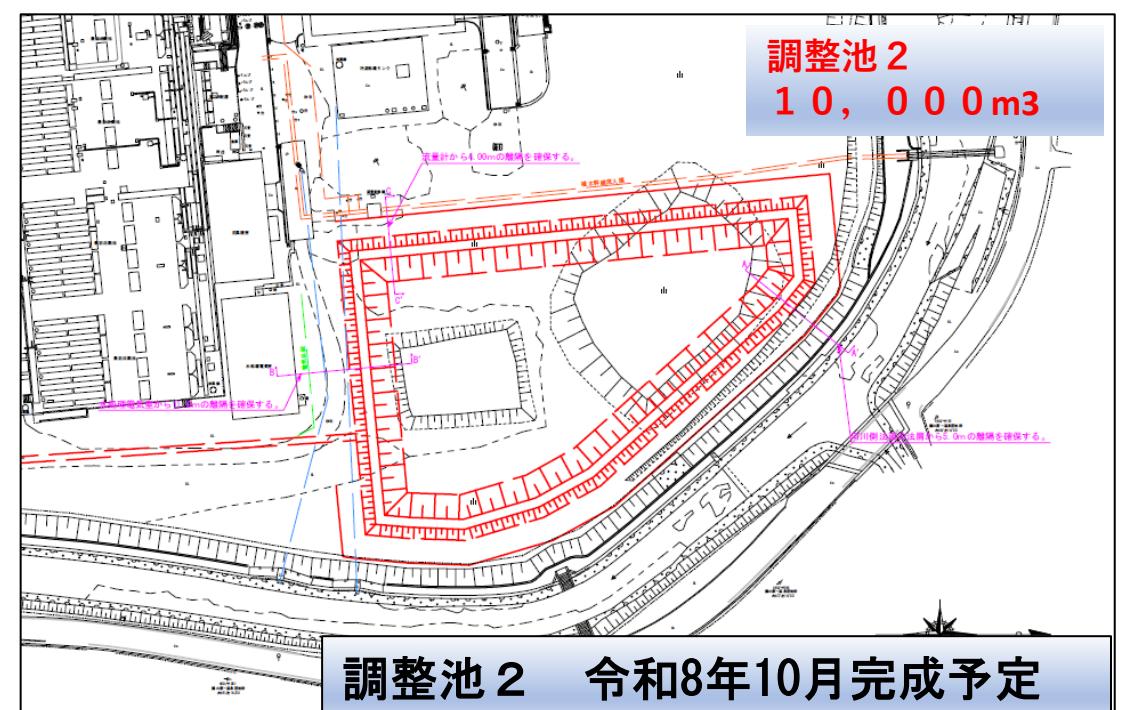
- 【井芹川】 鶴野橋河川監視カメラ映像



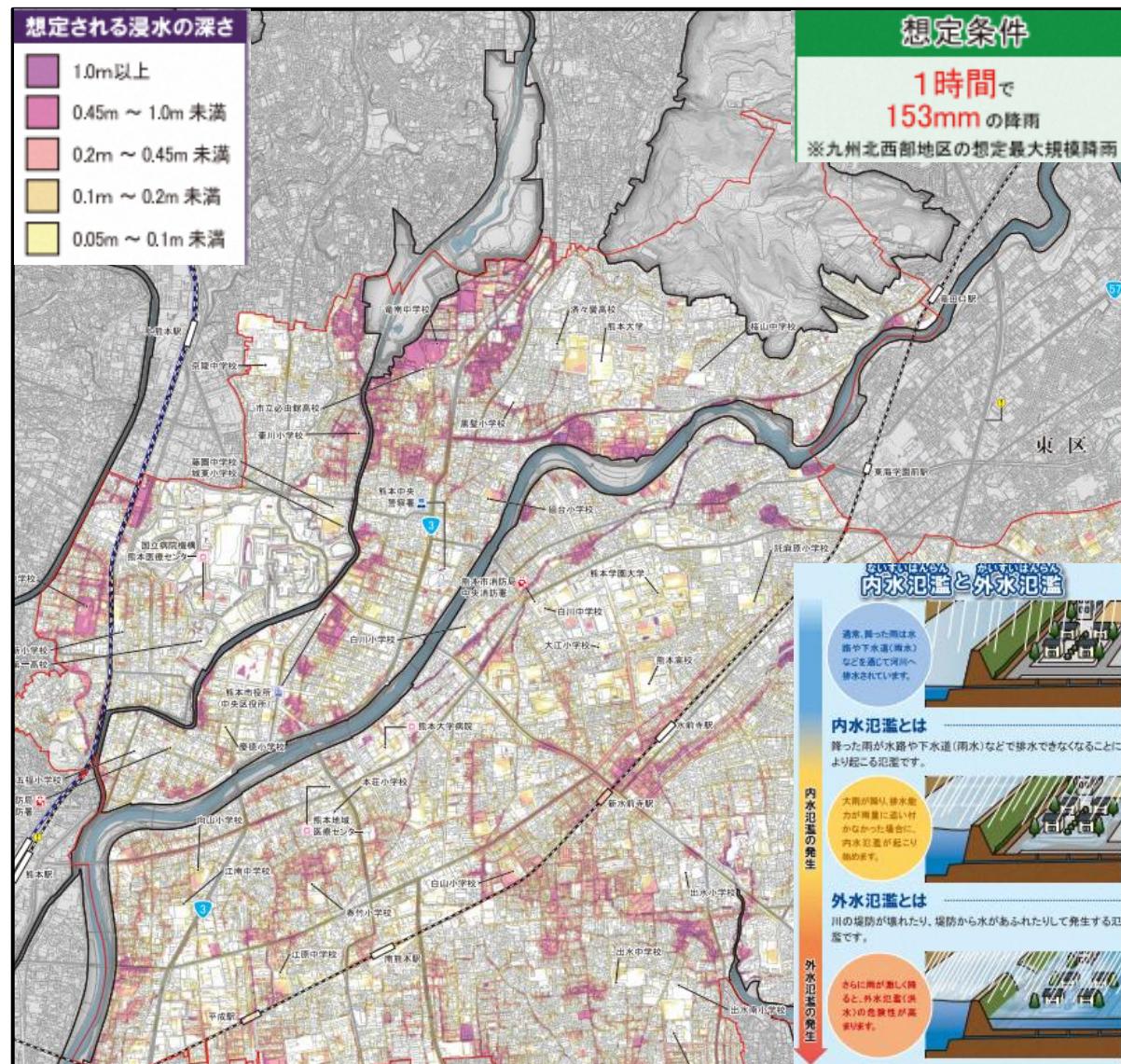
川の防災情報で河川の状況に関する情報を発信
(川の防災情報 : <https://www.river.go.jp/index>)



■ 既存の流域下水道施設（調整池）の活用



■内水浸水想定区域図の見直し・内水ハザードマップの作成周知



熊本市 内水浸水想定区域図(中央区)抜粋

■止水板設置補助制度の導入

設置イメージ



持ち運びタイプ
(住宅の入口等に設置)
出典：止水板の設置補助
倉敷市HP



止水板施工例
(事業所地下進入口等)

【ハード対策】

【短期対策】

- 次の出水期までに河川内と排水路に堆積した土砂撤去
- 越水箇所への堤防嵩上げ
- 排水機場等の施設の耐水化

【中長期対策】

- 気候変動を踏まえた、新たな遊水地を含む治水対策の検討
- 既存遊水地の洪水調節機能の強化
- 泥川排水機場の自動運転化
- 排水機場や貯留施設の整備

➡ 河川整備基本方針及び河川整備計画の早期策定



【ソフト対策】

○ 避難行動を円滑にするための対策

- ・ 河川監視カメラの増設
- ・ ワンコイン浸水センサの設置
- ・ 内水浸水想定区域図の見直し
- ・ 内水ハザードマップの作成・周知
- ・ 災害の備えとなる情報を広報誌等で周知
- ・ 市民の防災対応力向上に向けた啓発及び情報提供
- ・ 市民を含めた避難訓練及び防災教育の実施

○ 避難体制の強化

- ・ 情報伝達の訓練強化
- ・ 重要水防区間のパトロールの実施
- ・ 非常時の排水機場の操作要領・細則の見直し

○ 流出抑制対策

- ・ 雨水浸透ます等の設置への補助及び普及促進
- ・ 止水板設置補助制度の導入
- ・ 既存の流域下水道施設（調整池）の活用

浸水被害軽減に向けた対策を県と市が連携強化して推進

議題(2) 県有スポーツ施設の整備について

項目	現状、課題、これまでの取組状況等														
県有スポーツ施設の整備について (2)	<p>1 現状・背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県有スポーツ施設は、建設から長期間経過し、老朽化や現在求められる施設・設備等の水準を満たしていないなどの課題を抱えている。 ・昨年設置した「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」において、スポーツを「する」側と「みる」側の視点や、各施設が地域のまちづくり・地方創生に有する価値等を踏まえ、民間活力の導入や民間事業者主体の整備を含め、様々な観点から検討を進めてきたところ。 ・本年9月に取りまとめられた提言を踏まえ、県としての整備の方向性等を決定。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民共創による施設整備を進めていくため、施設の適正な規模・機能の精査や事業費の算定、財源の確保や交流人口の拡大、地域活性化を図るための施設の需要の創出を進めていく必要がある。 ・また、提言では、まちづくりや地域活性化に寄与するよう、周辺環境整備なども含め、市町村と連携しながら取組みを進めていく必要があること、特に『新体育館（アリーナ）の周辺まちづくり』と『藤崎台県営野球場の今後の取扱い』について、熊本市と連携していくことが付帯意見として出された。 <p>3 これまでの取組状況</p> <p>○公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市にも参加いただき県が事務局となり、5回の会議を開催。 ・9月1日、検討会議からの提言書が提出された。 <p>○県としての整備の方向性の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会議からの提言書を踏まえ、9月県議会において、県としての整備の方向性を表明。 ・なお、武道館（熊本市の都市公園内に設置）の改修については、早急に対応することとの検討会議からの付帯意見を踏まえ、都市公園設置者の熊本市と協議・調整し、県においては、同9月議会での補正予算成立を受け、既に改修に着手済み。熊本市においても、年度内の予算計上を調整中。 														
	<p>【4つの県有スポーツ施設の整備の方向性等及び検討会議からの提言書における付帯意見】</p> <table border="1" data-bbox="311 1563 1412 1758"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>熊本県立総合体育館</th> <th>藤崎台県営野球場</th> <th>熊本武道館</th> <th>県民総合運動公園陸上競技場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備の方向性等</td> <td>現地再整備</td> <td>移転再整備</td> <td>改修 (空調設備等の整備)</td> <td>現状維持 (交通アクセスの改善)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最優先で整備を進める</td> <td>体育館の整備から間を置かずに取り組む</td> <td>設計・工事等を早急を実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>提言書付帯意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体育館関係・・・周辺まちづくりの核とするための熊本市との連携 ・整備に当たっては、周辺のまちづくりや都市計画の面から、熊本市とも連携して取り組むこと。また、工法を工夫するなど、現在利用されている方への影響が小さくなるように配慮すること。 ●野球場関係・・・現球場の取扱いに係る熊本市との連携について ・県財政が厳しい中で、県営の野球場として残すことは難しい状況ではあるが、他県に比べ硬式野球ができる球場数が県内に少ない現状を踏まえると、引き続き野球場として残すことが望ましい。その際、熊本市のまちづくりとの関係も考慮し、同市と連携して、今後の取扱いを検討するとともに、今後の利活用を想定した文化財保護法令等への対応方策についても模索すること。 <p>（熊本市関連部分）</p>	施設	熊本県立総合体育館	藤崎台県営野球場	熊本武道館	県民総合運動公園陸上競技場	整備の方向性等	現地再整備	移転再整備	改修 (空調設備等の整備)	現状維持 (交通アクセスの改善)		最優先で整備を進める	体育館の整備から間を置かずに取り組む	設計・工事等を早急を実施
施設	熊本県立総合体育館	藤崎台県営野球場	熊本武道館	県民総合運動公園陸上競技場											
整備の方向性等	現地再整備	移転再整備	改修 (空調設備等の整備)	現状維持 (交通アクセスの改善)											
	最優先で整備を進める	体育館の整備から間を置かずに取り組む	設計・工事等を早急を実施												

1 アリーナ関係

- ①良好な周辺環境の整備等
- ②整備に係る役割分担
- ③施設利用に係る需要創出



(熊本県立総合体育館)

2 野球場関係

- ①新野球場整備後の
藤崎台県営野球場の取扱い



(藤崎台県営野球場)

3 武道館関係

- ①県・市が連携した改修の推進



地図:くまもとデータ連携基盤地図ダッシュボードサービスより

他県の事例

広島県広島市南区
(MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島)

ペDESTリアンデッキ



出所:広島市HP

佐賀県佐賀市(SAGAアリーナ近辺)

ポケットパーク※



※歩道に設けられた休憩スポット

令和7年（2025年）12月24日
熊本県知事公室危機管理防災課
熊本市政策局秘書部秘書課

熊本地震10年犠牲者合同追悼式について

熊本地震発災から10年の節目である来年（令和8年）の追悼式について、県と市町村が一体となり、犠牲となられた方々に哀悼の意を表することに加え、熊本県全体で災害の記憶の風化を防ぎ、防災への思いを新たにすため、以下のとおり県と市町村の共催で実施します。

【追悼式実施概要（予定）】

- 1 日時 令和8年（2026年）4月16日（木）10:00～10:40
- 2 会場 熊本城ホール 2階 シビックホール
（熊本市中央区桜町3-40）
- 3 主催 県、県内市町村
- 4 出席者 御遺族、知事、市町村長、県議会議長、市町村議会議長、来賓
（計250人程度）
- 5 式次第 黙禱、式辞（知事）、追悼のことば（熊本市長等）、献花 等
- 6 その他
 - ・式典に先立ち、希望される御遺族を対象とした「御遺族の交流の場」を開催します。
 - ・また、式典終了後に、一般献花を受け付けるほか、市町村長等を対象とした県防災・危機管理トップセミナーを開催します。